

ハイブリッド留学プログラム

まず海を渡らせる、全てはそこから開始した

- 言葉・費用の壁をなくし、参加しやすいグローバル人材育成プログラムを実現 —

大学授業を丸ごと海外で実施

工学院大学 学長 水野 明哲

工学院大学ハイブリッド留学プログラム



本日の報告内容

1. 「ハイブリッド留学プログラム」開発の背景
2. プログラムのコンセプト
3. プログラムの概要(学習プログラム)
4. プログラムの概要(留学中の生活)
5. 法令上の課題
6. 今後の展開

1. プログラム開発の背景

なぜ日本からの留学生が増えないのか？ ～2つの壁～

これまでの一般的な留学プログラム

参加条件(英語力)

TOEFL 61点以上

IELTS 6.0点以上

留学先にて(受講条件・費用負担)

専門科目を提携大学にて英語で受講

現地大学授業料が必要(半年で70-100万円)

現 状

「学生の内向き志向」

◎留学したいと思わない理由

1位:「費用がかかるから」44%(費用のかべ)

2位:「英語(外国語)が苦手だから」43.8%(言葉のかべ)

開 発

※「進学センサス2013」リクルート進学総研より

ハイブリッド留学プログラム

2. 「ハイブリッド留学」のコンセプト ～2つの壁を取り払う～



言葉のかべ

- ◎現地にて開講する本学専門科目は、その担当教員が日本から渡航し、現地で日本語にて授業する。授業は短期集中講座で実施。
1科目1週間(1日3コマ×5日間=15コマ)での実施を繰り返す。

費用のかべ

- ◎本学教員を直接現地へ派遣し、現地にて授業を開講するため、現地での授業料は不要。
- ◎本人負担はホームステイ費用および渡航費用のみ



ハイブリッド留学プログラムの特徴 (イギリス)

イギリス・ハイブリッド留学の最大の特徴は、
建築学部後期約4ヶ月間の授業を、丸ごと英国カンタベリー市で実施し、
留学中の本学授業科目は、渡英する本学教員が日本語で開講、
英国滞在中は英国人家庭にホームステイすることにより英語で生活、
というハイブリット環境による留学という点。

まずグローバルな感性、感覚を養成することを最優先。
語学は後からついてくる。という考え方

海を渡り海外で暮らす > 語学の習得



3. 留学中の学習プログラム

対象: 建築学部3年生(後期)

(建築学科・建築デザイン学科・まちづくり学科)

現地での開講科目

科目名	単位数
デザインサーベイ	17
建築設計論	
地域施設計画	
建築セミナー	
環境生態学	
建築都市保存調査演習	
建築総合演習I	
総合文化科目「芸術学各論」 (カンタベリーspecial)	

※イギリス・ハイブリッド留学 2013年度実績

カンタベリー市：世界遺産が点在する街 ～街そのものが教材～



「カンタベリー大聖堂」のほか、「聖オーガスティン修道院」と「聖マーティン教会」も世界遺産に登録されており、その他に、12世紀～19世紀の建築が東西、徒歩40分程度の市内に現存し、多くの観光客や訪れている。



カンタベリー市：イングリッシュガーデン

自然の景観美を追求したイングリッシュガーデンが、人々の憩いの場になっている。
緑豊かなケント州には、多くの素晴らしい庭園が存在する。



現地での履修スケジュール



第1週	本学授業科目①	第9週	提携校による英語授業④
第2週	本学授業科目②	第10週	本学授業科目⑤
第3週	提携校による英語授業①	第11週	提携校による英語授業⑤
第4週	提携校による英語授業②	第12週	本学授業科目⑥
第5週	本学授業科目③	第13週	本学授業科目⑦
第6週	提携校による英語授業③	第14週	提携校による英語授業⑥
第7週	本学授業科目④	第15週	提携校による英語授業⑦
第8週	ブレイク・ウィーク オプションツアー(欧州観光・視察等)	第16週	帰国



現地での1週間のスケジュール例(本学授業科目実施時)

	9:00~10:30	10:40~12:10	12:10~13:00	13:00~14:30	14:30~16:00
DAY 1	授 業	授 業	昼 食	授 業	復習・予習
DAY 2	授 業	授 業	昼 食	授 業	復習・予習
DAY 3	授 業	授 業	昼 食	授 業	復習・予習
DAY 4	授 業	授 業	昼 食	授 業	復習・予習
DAY 5	授 業	授 業	昼 食	授 業	復習・予習

現地での1週間のスケジュール例(提携校英語授業実施時)

	9:00~10:30	10:40~12:10	12:10~13:00	13:00~
DAY 1	英語授業	英語授業	昼 食	各自でフィールドワーク
DAY 2	英語授業	英語授業	昼 食	各自でフィールドワーク
DAY 3	自由行動			
DAY 4	英語授業	英語授業	昼 食	各自でフィールドワーク
DAY 5	英語授業	英語授業	昼 食	各自でフィールドワーク



英語力強化は必須！

英語教育は現地提携校と連携して実施

(提携校講師による本格的な英語学習)

- ◎英語力強化はもちろん必須課題としている。
- ◎現地における英語授業は本学と現地提携校が連携し、留学期間を最大に有効活用した内容で実施する。
- ◎授業では、英語コミュニケーション能力向上のほか、英語でのプレゼンテーションやスピーチを行うという国内同様のカリキュラムを、現地提携校講師の指導のもと行っていく。

